

鳥取大学医学部附属病院 出生前検査（NIPT 検査）の遺伝カウンセリング

～自己チェックシート～

鳥取大学医学部附属病院 遺伝子診療科では、妊婦さんに対する出生前検査の遺伝カウンセリングを実施しています。出生前検査は誰でも対象となる検査ではありません。この自己チェックシートは、NIPT 検査を検討されている方にご記入をお願いしています。下記をご確認いただき、遺伝子診療科受診時にご持参ください。

1. 該当する項目に□を入れてください。

- ①出産予定日の年齢が 35 歳以上である
- ②これまでの妊娠・分娩で、児が 21 トリソミー（ダウントリソミー）、18 トリソミー、13 トリソミーのいずれかの染色体異常であった
- ③ご夫婦のいずれかに、上記の染色体疾患の児を得る可能性が高くなる染色体がある（ロバートソン転座保因者）
- ④今回の妊娠で、超音波検査や母体血清マーカー検査により、胎児が上記のいずれかの染色体疾患に罹患している可能性が指摘された
 - ・ひとつ以上に□が入る → NIPT 検査の適応条件に当てはまります。「2」へ進んでください。
 - ・□がひとつもない → NIPT 検査を受けることができません。「3」へ進んでください。

2. NIPT 検査を希望される場合、該当する項目に□を入れてください。

- 産婦人科医による予約時に、妊娠週数が 8 週 0 日以上 12 週 6 日以下である
- 単胎もしくは双胎である
- かかりつけの産婦人科医から当院への紹介が可能である
- 夫婦そろって検査前後の遺伝カウンセリングを受けることができる
- 遺伝カウンセリングおよび出生前診断は自費診療であることを理解している
- 初回遺伝カウンセリングの当日には検査できないことを理解している
- 出産時および出産後の母児の状況の情報提供に協力できる
- NIPT で陽性の場合、診断の確定のため、原則、羊水検査が必要であることを了承できる
 - ・すべてに□が入っている → 鳥取大学病院遺伝子診療科の NIPT 遺伝カウンセリングをご予約いただけます。遺伝カウンセリング当日、本チェックシートをご持参ください。
 - ・□が入っていない項目がある → 鳥大 NIPT 検査の対象ではありません。「3」へ進んでください。

3. □がつかない項目がひとつでもあった方へ

遺伝カウンセリングにて NIPT 検査やその他の出生前診断について詳しい話を聞いたり、相談をすることがあります。かかりつけの産婦人科医もしくは、鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科へお問い合わせください。